

手拭原料

〔下學集〕下絹布テノゴヒ手巾

〔運歩色葉集〕多手拭タナコヒ

〔易林本節用集〕天食服テノゴヒ手拭

〔庭訓往來〕御札之旨、大齋之體、心事難申盡候、中御布施物事、被物祿物等、可被略之歟、中此外、中

略手巾、中下

〔尺素往來〕布施物者、中手巾、

〔延喜式〕七踐祚大嘗祭、凡料理所須、中木綿十八斤、手巾料調布、三端二丈四尺、並以官物分付兩國、

〔延喜式〕二十曝布三條、各長四尺、拭爵井、

右申省所受

〔延喜式〕二十一凡天皇即位、則講說仁王般若經、一代一講、

講師法服、中湯巾料望陀布一條、二丈一尺、手巾一條、以上各長三尺、並細布、中略、讀師法服、中湯巾料望陀布

一條、中略、已上丈、尺並同、上條

〔甲陽軍鑑〕九下品第二十六、其夜、天文十五年六月六日亥刻に勝時を執行あり、其儀式は、中さいはいは、屋形様

晴信、武田持給ふ、なんてんの御手水は、金丸筑前、大布の御手巾、飯富源四郎、如此ありて、其夜はかる

井澤に野陣なり、

〔梵舜日記〕寛永七年正月二日、早旦行水、中次元碩へ、唐木綿手巾、一、次祇園竹坊ニ扇、二、入箱持參

也、

〔守貞漫稿〕十五夏ハ汗手拭ト號ケテ、從來晒麻布ヲ用フ、長ケ二尺五寸或ハ一尺餘ノ物ヲモ用フ、

蓋夏月モ木綿手巾ヲ専用スレドモ、男女トモニ禮晴服ニテ、他ニ往ク等ニハ、麻布巾ヲ用ヒ、又略

襲ニモ、人品ニヨリテ麻布ヲ用フ、雜人ハ夏モ麻布ヲ用ヒズ、